常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 営業部専用1210 編集部1269

御婚礼家具調度品
特売奉仕中
三重タンス各種
洋服タンス
ベビータンス
鏡台・針箱
伊東家具店
平市新川町 電464

当初二億二千三百萬円 磐城市の予算案成る

磐城市の予算市議会は三月十日ごろに予定されているが、同議会に提出される三十二年度の当初予算は十九日三代市長の最終査定を終り総額二億二千三百三十万五千二百九十四円と決つた。前年度の当初予算と比べると一千八百七十五万円の増額となつているが、全般的には財政自主再建計画に基く健全財政の堅持を編成方針の基本としている。新予算の才入は税収一億六千三十九万円、税外収入六千二百九十万円。才出では緊急を要するものから重点的に計上しているのが目立つている。

七課二出張所に 四月から支所は廃止

また庁内の事務の統一をはかるためかねてから機構改革を実施しようとその案をねつていたがこのほどまとまつたので来月上旬に開く予算市会にこれを提出することになつた。案によると現在の吏員定数はふやさず適材適所に配置転換を行い、支所では泉、江名、渡辺玉川、鹿島の五支所は三月三十一日で廃止、泉、江名を出張所、また玉川、鹿島にはそれぞれ駐在員を置き、渡辺は泉出張所に編入することになる。

また現在の秘書企画課と戸籍課は廃止して、この事務は総務課で扱うことにし福祉事務所の保険事務と衛生課は統合して厚生課となる。このため現在の九課五支所制度は四月から七課二出張所、二駐在所となる。

冬室氏表彰さる 就職斡旋に功奏す

平職安植田出張所長冬室軍治氏(五三)は二十一日労働省職業安定局長から表彰された。

同氏は三十年十月初代所長として就任就職斡旋に好成績を見せたが、とくに当時の炭砿失業者の就職には馬力をかけたもので こんど県下只一人の表彰となつたもの。

冬室氏の話 「所長に就任していろいろ苦労したが、学ぶところも多かつた、今度局長表彰を受けたのは、私のサラリーマン生活のうち最大の喜びと思つています。今後はますますがん張ります」

一日入隊

磐城市第一隊ボーイ・スカウト(隊長高橋保治氏)では二十四日午前七時から同市小名浜カトリック教会で、隊員以外の十才から十三才までの少年を集め「一日入隊」を実施する。希望者はネツカチース(風呂敷でも可)ロープ三メートル、鉛筆、ノート、弁当持参で午前七時まで参集するよう望んでいる。

公民館職員研修会

石城郡第三方部公民館職員研修会は二十三日午前十時から玉山温泉で開く、平(六公民館)好間(一)三和(四)小川(一)川前(一)四倉(三)の市町村関係者約三十名が集まり四倉公民館長松崎嘉雄氏の「視聴覚教育の運営について」の研究発表があり、次いで読書思想普及を中心に討議を行う。

全山一せに休憩 炭労の賃上げ戦術

一方八十円の賃上げを要求した古河好間炭砿ではきのう二十日から当分の間全山一斉休憩戦術に入つた。このため一日約十%の減産が見込まれている。一方当り八十円保証坑夫最低三百四十円を要求した炭労傘下大手筋炭砿古河好間では炭労指令にもとずいて二十日から解決のつくまで坑内は午前十時三十分から同十一時三十分まで、坑外は午前十一時から同十二時まで一斉休憩戦術に突入したもの。

鮫川水利開発で上京

常磐総合開発は三十二年度から高柴ダム、小名浜港湾整備また小名浜―新潟間国道など一斉に着手するが国の予算難から見送られた鮫川水利開発(上水道、工業用水)は政府が二十億円を出して設立した東北興業会社の手で行うことに決定した。

このため常磐総合開発期成同盟会諸橋、小野、飯島、越田和副会長、橋本事務局長らはあす二十二日上京、さきに出京中の大竹知事(会長)らと合流して、大蔵省など各関係当局と話合うことになつた。

トロに跳ねられ重傷

きょう二十一日午前九時三十分ごろ重内炭砿坑外捲場附近で荷トロの捲上げ作業中の坑外運搬夫吉垣守一さん(三〇)は乗つていた炭車のピンがはねて暴走したため飛び降り地面に頭部を強打して生命危篤である。

大木屋の銘菓 電一六〇九
氷石山

サナギ二石駆除 平市で成果収める

平市衛生課では昨年十二月一日から二月十日まで「越冬昆虫駆除」運動を全市に呼びかけて実施していたが、その成果がこのほどまとまつた。

成果をみると全市一万三千六百六十六戸(人口七万七百九十六人)で二石二斗四升二合という多量のサナギを駆除したもので、これに使用した薬剤は六百七十七キログラムとなつている。この駆除に参加した人員は二百五十七人、各区の協力者百五十六名である。

これを新旧市別にみると特別清掃地域に指定されている旧市内は七千百七世帯(人口三万三千五百七十人)で百八十三人が参加して薬品二百七十九キログラムを使用、一石四斗七升のサナギを駆除した。一方新市内は六千五百五十九世帯(人口三万七千二百二十六人)で百三十人が参加、三百九十八キログラムの薬剤を使用して七斗七升二合のサナギを駆除した。これを更に多量駆除した地区は鎌田の九升を最高に長橋、仲間町、旧城跡の各八升がつづき古鍛冶町、研町で六升、新川町五升、また少なかつた地区は紺屋町、五丁目の各三升、大工町の二升となつている。

これに対して市当局では駆除数の多い地区に於ては日頃の清掃など衛生面が悪いことがうかがわれ、反面少なかつた地域においては日頃の衛生が良かつたものであるといつている。このように大々的に実施した越冬駆除はいままでにない大成果を収めたことから今後は更に同運動の重要性を市民の各層に浸透させ明るく衛生的な平市を建設することにもなつている。

ラジオ古山

四十四点が入賞 平市教職員の研究物展

平市内小学校職員研究物展は二十二十一日の両日平市公会堂日本間で十一校の職員の日頃からの研究していた資料が百四十五点出品された。各類別を審査員が厳選な審査をした結果一小九点、二小五点、三小九点、四小三点、五小四点、六小五点、豊間小二点、高久小二点、夏井小二点、草野小二点赤井小一点の計四十四点が入賞した。入賞作品は次の通り。

◆学校経営に関するもの▽「本校における健康教育活動資料」一小全職員▽「わが校における図書館の運営について」五小校長外十三名▽「教務一年間の足跡」阿部政延(六小)◆学級経営に関するもの▽「一年生の学級経営」二小一年担任▽「児童生活習慣の実態分析」志賀博(三小)▽「学級経営の実践と反省」浦山登記枝(三小)▽「行動の見かたと評価について」井上利光(四小)▽「学校給食における学習化の一端」鈴木和子(六小)▽「授業時数に基いた六カ年の教育計画の反省」篠塚安久(豊間小)▽「一年生の毎月の教室環境と目標」菅波きん市(高久小)▽「教育評価の個人票」箱崎勝則(草野小)

◆教科研究に関するもの▽「本校における器械運動の段階的指導法」田久弘文(一小)▽「作業についての考察」一条一(二小)▽「社会科カリキュラム」山本秀吉(二小)▽「おてがみちょうを中心とした一年生の作文指導」新妻澄子(二小)▽「能率的な器楽指導の実際」長谷川友子(三小)▽「本校音楽教育の歩み」三小音楽研究部▽「版画指導のための手引」太田幸男(四小)▽「特殊児童の絵画指導に於ける一考察」竹内光春(四小)▽「乗法九九の指導」下宮昭男(五小)「教科外指導の診断とその考察」中井政守(六小)▽「習字指導の実際」松本英夫(六小)▽保健体育の指導のために」長谷川義翁(六小)▽「社会科カリキユラム」小松正二(豊間小)▽「クラブ活動の評価」渡辺あや子(夏井小)▽「教科外活動の歩み」松崎三千男、黒川竹博、坂本勇(夏井小)

◆教材教具の研究に関するもの▽「自作教具ガラス切断万能スタンド」木村歩(一小)▽「視覚教具幻灯人形劇マツト」高浜幸一(一小)▽「星座早見盤」一小理科研究部▽「実用地図ケース」佐藤政巳(二小)▽九九学習の実際」樫村直子(三小)▽「健康教育の資料」遠藤和代(四小)▽「個人別能力別指導に効果的なドリルカードの利用と実際」鈴木茂(五小)▽「ひと自読み円板国語学習教具」高木登美子(高久小)▽「学芸会の記録」草野小学校▽「読譜準備期の指導」渡辺ユキ(赤井小)

◆其の他▽「件名目録の作り方とその利用法」志賀功(一小)▽「演劇指導の記録」小野千代之助、市原健一(一小)▽「父母と教師の連絡カード」小野千代之助(一小)▽「児童生徒の心理的身体的発達段階一覧」渡辺仁也(一小)▽「学校劇と歩んだ七年間」中野正二郎(三小)▽「本校に於ける学校園経営の実際」須藤恭将(三小)▽「本校に於る図書館弘報の実際」新家文秀、鈴木節枝(五小)

吉田誠祐儀二月二十一日午前四時自宅に於いて急逝致しました茲に生前の御厚誼を深謝し謹んで御通知申上げます
追而葬儀は二月二十三日午後二時自宅出棺海嶽寺に埋葬致します
昭和三十二年二月二十一日
石城郡四倉町仲町一〇二
東北産業株式会社
喪主 吉田誠
親戚代表 吉田正衛
友人代表 太田竹二郎

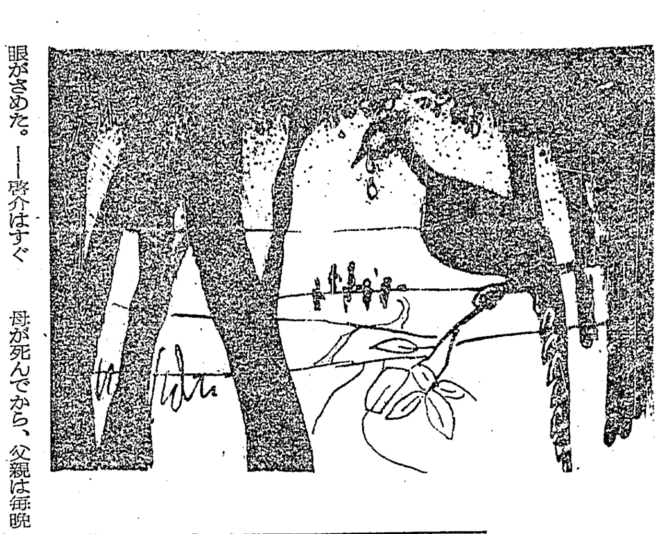
平けいりん
發走11時
小雨決行
3月
前節2日3日4日 後節9日10日11日
場外車券売場
福島市・郡山市
若松市・平市大町
主催 平市

笛の詩

えと文　谷田部風太郎

オホーツクの章　3

山鳥は皆に許された。ほかの小鳥達が懸命になつて、おれた山鳥の羽根を手当して呉れた。啓介は嬉しさに浮かれて、皆と一緒におどり廻つた。やがて啓介は林を過ぎて帰えつて来た。



眼がさめた。——啓介はすぐに壁の童画を見た。けれど山鳥はやはりいつもの侭、木の枝に赤い血を流がして止つていた。啓介は、何か急に悲しさがこみ上げて来て、机に顔を押しつけて泣き出してしまつた。

「小人のばか、兎のばか、小鳥のばか」

そんな事を叫びながら泣いて、又、再び眠つてしまつた。いつの間にか……。

啓介は、今でもその童画に関する限り、そんな幼ない頃の事まではつきり記憶して居るのである。

啓介が十才の時、母親の静野が死んだ。しかし啓介は泣かなかつた。

（死んだもの、仕方がないや）

子供心にも、そうあきらめたのであろう。白布を顔の上にのつけて黙つて居る母親を、不思議そうに眺めたりしていた。

葬儀が終つて、知人や近人が帰つてしまうとさすがに何かしらもの足りない淋しさにおそわれたけれど、それも涙をそゝる程の強さのものではなかつた。

「さあ、パパが笛を吹いてあげよう」

母が死んでから、父親は毎晩啓介の枕もとで笛を吹いた。

啓介は、そのフリユートの面白いテンポの動きと、細い美しい音色の中でとけこむように静かに眠つた。

小夜曲（セレナーデ）をしづかに吹き出すにぶい光の銀いぶしのフリユートには、父親の、今は淋しい昔の想いがひそんでいた。

（わしがこれを吹いて、静野が唄つた……）

啓介の寝息の下で、父親はじつと眼を閉じるのだつた。

山鳥の童画を、啓介はその頃から、今までとは全く違つた考えで見る様になつたのである。

裕福で育つた啓介の性格の中には、多少我ままで強情なところがあつた。

或日、一寸した事で友達と口論を始めた。

「やあい。親なし子やあい」

子供達は、啓介に向つて口々にそうはやし立てたのである。

「なにツ。パパが居るぞツ」

「やあい、ママなし子やあい」

啓介は、両手を服のポケットに突込んで、うなだれて家へ帰つて来た。

「山鳥。山鳥！お前は意地悪したんじやないだろう。お前にもママが居ないんだろう。そうだよ。なあ……山鳥。お前も僕と同じだ」

啓介は、はじめて母親の死んだ事を悲しみ、新しい墓標にすがつて、何故死んだとののしり、声を上げて泣いたのであつた。

童画の、小人も兎もリスも、今は皆、意地悪な悪魔みたいなものであつた。

（つづく）

家国防消本部長賞 栄えの

常磐市消防団　施設の擴充実る

常磐市消防本部団＝団長白石初太郎氏(五八)＝は三十一年度優良消防団として三月一日内閣総理大臣官邸で晴れの国家消防本部長賞を受けることになつた。同市では永年消防装備と施設の充実をはかつて来ただけに市を挙げて受賞を喜んでいる。

とくに充実に乗出したのは当時の湯本町と磐崎村が合併して常磐市が発足した二十九年三月三十一日以降からであるが、このため合併当時五百五名であつた消防団員を三百七十名に減員して経費を節約装備、施設の充実に当てた。三十年度以降購入した装備では消防自動車二台、ガソリンポンプ二台、小型動力ポンプ四台、また防火貯水そう、消火せんなど防火施設の充実に着手、この数は現在百八十五に達し、人口四万二千人の同市ではどこの部落に行つても防火貯水そうがみられるようになつた。

一方団員の質の向上を図り、各分団ごとに毎月二回出動訓練を行つている。さらに市が発足と同時に消防署を設置、署長は矢吹市長が兼務、署員二十一名で消防自動車三台を持ち、火災の早期発見に好成績をあげているもので、三十二年度には専任署長と署員四名を増員することになつている。

矢吹市長と共にこの推進力となつている白石消防団長は大正五年四月当時の消防組員を拝命、去る二十二年十月副団長、二十六年十月団長となり、現在は二期目で、団員の信望を一身に集めている。このように消防装備、施設の充実を図り、二十九年には優良消防団として日本消防協会長賞、三十年には金ばれんを受けている。白石団長は「一そう団の充実を図り、市民を火災から守るため万全を期してゆきたい」と語つている。

卓上日記　当用日記　自由日記　懐中日記　家計簿　文　魁文堂

土台腐って傾く

植田中改築を陳情

新学期を前に県下でも最も危険校舎を抱えている勿来市植田中学校＝校長園部一巳氏、生徒数七百十七名＝では「ことしこそなんとかしてくれ」と市や県に強力な陳情をすることになつた

同校の校舎三むねのうち中央校舎（三百五十坪、一部二階建）は明治二十六年六月に建てられたもので腐しょくがひどく、土台はボロボロに腐りハリのホゾまで腐り、いつ落ちるかわからない有様。雨もりがひどく雨のときは廊下が川のようになるという。昨年県の検査で柱が高さ一間につき二寸も東側に傾いていることがわかり、支え棒をしているが、三年前には二階作法室の床が落ちたことがあり危険なので普通教室は二つだけで残り七教室は普段あまり使用しない特別教室にしている。このため学校当局は毎年陳情を続けているが国庫補助や県、市の財政難から後まわしにされていた。

園部校長談　いつ落ちるかわからない教室で大切な生徒たちを勉強させているのは心配です。毎年後まわしにされているのでことしこそ市や県に頼んで改築してもらうつもりです。

阿部教育長談　植田中の改築は昨年行なうわけだつたが、都合で山田小が先になつてしまつたのでことしは必ず行なう事になつている

硫安三千トン

北ヴエトナムへ輸出

工業塩の輸入などあつて磐城市小名浜港ではいよいよ外国貿易港としての威容をそなえてきたが、今度は日本水素小名浜工場から北ヴエトナムに硫安三千トンが初輸出されることになつた。この硫安は三月三日ころ積出されるが、このほか同月下旬には朝鮮へ同じく硫安二千トンを輸出、また四月上旬には呉羽化学錦工場と日本水素からかりん酸石灰三千トンがそれぞれ台湾に向け輸出される予定である。

パンは開花亭

剣道講習会

磐城剣道連盟では次の日程で剣道講習会及段取審査を行う。▼講習会＝二月二十八日、三月十日、八日毎日午前十時から午後三時まで平署演武場。科目は剣道理論及形けいこ等▼段取審査＝三月三日午前九時から初段より五段迄。科目は実科及学科剣道形等

保育所設置

大昭労で陳情

勿来市山田町字和久大昭炭砿労組代表阿部嘉一氏は十九日午後一時勿来市へ保育所を設置してほしいと陳情した。

これはいままでの炭砿不況を吹きとばしやつと安定した生活をとり戻したが、家庭の主婦はいつでも苦しいときは手助けになるよう内職をはじめたので、子供を収容する施設がなかつた。そこで労組では同砿職員寮の一部を開放して託児所を経営したが、現在では附近の困つている農家などからも申込みがあり、貧困家庭救援のためにも設置してほしいというもの。

小名濱銀座商店会役員

▽磐城市小名浜銀座商店会では此程総会を開き旧正月大売出しの反省今後の販売方法等サービスについて話合い新役員を次の通り決めた。

▽会長阿部正男▽同副高野光一柳内秀吉▽幹事高野昌平、大山重雄外十二名▽会計小野達四郎

大場工場長は本社総務

水素人事異動

日本水素工業株式会社では去る十三日の取締役会で同社重役級の異動を協議、同社小名浜工場長大場圀雄氏(四九)ら四重役の人事異動を四月一日付で発令することに決めた。こんど本社取締役と決まつた大場氏は二十七年三月に本社総務部長から小名浜工場長として着任同社の合理化計画にそつて常磐地区の低品位炭を利用したコツパースろを建設した。（カツコ内は旧任）

▽総務、経理担当取締役（小名浜工場長）大場圀雄▽小名浜工場長（専務取締役）武田市三郎▽常務取締役（取締役）上野山博▽東京研究所長（取締役）山田信四郎。

今晩のラジオ

◇NHK（第一）
六、〇〇 子供の時間
六、一五 次郎物語
六、四〇 スポーツ便り
六、四五 川柳コント
七、一五 録音ニュース
七、三〇 即興劇場
八、〇〇 浪花演芸会
八、三〇 連続放送劇
九、〇五 ニュース解説
九、三〇 話の泉
10、15 邦楽名曲選
10、40 幸福を拾つた話
11、10 きようの国会から

◇ラジオ福島
六、〇五 トニーの童話
六、一五 赤胴鈴之助
六、四〇 永遠に答えず
七、一〇 録音ニュース
七、一五 漫談ディスクジョッキー
七、三〇 歌のトランプ
八、〇〇 民謡うたの旅
八、三〇 サロンパスの浪曲
九、〇〇 平凡アワー
九、三〇 甚兵衛アワー
10、05 名作アルバム
10、10 夜の案内
10、15 夜の調べ
11、05 事時解説

今晩の映画

▼世界館　廿六日マデ
七、三〇 関八州大利根の対決
八、五九 いとはん物語

▼ひかり座　廿五日マデ
六、三〇 特攻魚雷作戦
八、四三 地獄の翼

▼聚楽館　廿五日マデ
六、〇〇 灰色の服を着た男
八、五〇 アレキサンダー大王

▼平館　廿六日マデ
七、〇〇 ああ軍艦旗　われらの皇太子さま
八、三〇 孤独の人

▼民劇　廿六日マデ
六、〇五 流れる
八、一七 女しゆうと共に

▼東映劇場　廿六日マデ
七、一三 らくだの馬さん
八、三〇 青雲の鬼

第六回入学生募集
社団法人　平医師会附属
◎試験日　四月五日
◎願書締切　三月末日
浜通り唯一の公認指定学校
厚生省指定・福島県公認
平高等理容美容学院（募集人員二〇〇名）
平市田町二四（電二三〇五）
福島県公認
平准看護婦学校（募集人員六〇名）
平市南町七六（電三〇七）
◎入学案内願書用紙は当校にあります

生きているコンビーフ！
ジャーマンのハムとして知られる風味の良い
ヘルマンのコンビーフ　五〇匁　一三〇円
ヘルマンのローラーデー　〃　一四五円
〃　牛ウインナー　〃　一一〇円
平市銀座通り　電二七一
マル

銘菓　六段最中　六段羊羹
平名物
世界的名曲「六段」の作曲家八橋検校は平市の生れ
名曲「六段」に因み
六段本舗　平駅前　平凡　電509

厚生医療指定病院
財団法人　竹林病院
本院　平市十五丁目十三番地　電話六〇八・八一一番
分病棟　平市小太郎町十三番地　電話一一二七四番

マイツル粉石鹸
袋屋本店　電516

寒い季節は人体の休息時期です
カロリー補給も寒さを蹴飛ばすレストラン
パールで
カキフライ
チキンライス・パールライス
などを!!
PEARL
レストラン
パール
平市田町　電1388

可愛いお子様の！
保健と衛生の
御相談は....
電話40・1940番へ
関内薬局
平市四丁目　電40・1940

運動靴　TEL 649

味自慢
寿し…
割烹…
御料理…
仕出し承ります
…和洋食…
…中華そば…
（出前迅速）
奈加や
平市才槌小路
TEL 395